



## **Troedsson Villa Mountain School**



## TVMSについて

- 日光を拠点に活動するアーティスト主導の活動体。
- ワークショップとサイトスペシフィックな展覧会を継続的に実施。



## 活動の考え方

- 学校ではなく、教える立場、教わる立場を固定しない。
- 行為と経験を通して学びを生む



## これまでの活動実績

- ・ 2015年から活動を開始し、展覧会や音楽イベント、様々なワークショップを実施してきた。
- ・ 観客が参加者へと変化するプロセスを考え、専門家や地域の知識をもった住民と交流してきた。

# 「てつおのガラージ」

- ・ 展覧会とワークショップを通して、観客が徐々に参加者へと移行させる
- ・ 路面に面しているため、地域に開かれパブリックな出来事として共有される



# 「The Pawnbroker's Museum」(米国で見つかった資料に基づき命名)

2025年の展覧会「ずれた」は、街の中心部に位置する明治時代の歴史的建築物である元質屋で行った。



併設する江戸時代に建てられた東屋は、小さなカフェとして運営され、観光客が本プロジェクトに出会う場として活用可能



## 日光の問題

- 世界的な観光地であるがゆえに、生活や歴史が見えにくく、見過ごされてきた場所がある
- 観光と地域生活の関係に歪みがある
- 古い建物や歴史的な風情が、高級観光向けに取り壊されつつある



## 2026年プロジェクト 「8月の光」

- ・約10年間の活動の延長、中間点としての位置付ける。
- ・てつおのギャラリーや質屋博物館での経験を踏まえ、日光や観光の課題に向き合う
- ・地域住民や来訪者との関わりを通じて参加者の主体性を育む
- ・質屋博物館を中心に、グループ展を開催
- ・てつおのギャラリーや街中の場所をサテライト会場として活用
- ・展示とワークショップを並行して実施し、街の様々な場所で関係性を体験



## 2026年プロジェクト 「8月の光-ワークショップ」

- ・アーティストと地元住民が共同で新たな観光スポットを定義する
  - ・忘れ去られた場所、見逃されてきたもの、無名の存在に目を向ける
  - ・現代美術の視点で再定義し、オルタナティブガイドブックとして提示
- ※ 展覧会期間中に複数回実施



## 目指す変化

- ・ 住民と来訪者の新しい関係
- ・ 地域の価値の再認識
- ・ 長期的な主体性と保存意識